

第5回

平成20年度
野田市文化会館自主文化事業



フェスティバル

■出演

- 下総之國津久太鼓
- 木村俊介
- 御諏訪太鼓
- 愛宕陣太鼓連響風組
- 尾張新次郎太鼓保存会
- 太鼓集団天邪鬼
(出演順)

日時 ■ 平成20年 **12月7日** [日]
午後1時30分開場 / 午後2時開演

会場 ■ **野田市文化会館**

入場料 ■ 全席指定 S席 = 3,500円 (10枚以上の購入は3,200円にて文化会館で取り扱い)、A席 = 2,500円 / 前売開始 ■ 10月4日 (土) / チケット取扱所 ■ 野田市文化会館 ☎04-7124-1555 樺のホール ☎04-7123-7809 ジャスコノア店 ☎04-7122-8100 ブックスエンドウ川間店 ☎04-7129-4658 ブックスエンドウ関宿店(エコス店内) ☎04-7198-3322 いなげや野田みずき店 ☎04-7121-2101 お茶のあらき園(グリーンショッピングセンター内) ☎0297-36-0330(坂東市) 前売券が売切れ次第当日券も終了

企画制作 ■ 日本太鼓フェスティバルin野田実行委員会
主催・問い合わせ先 ■ 野田市文化会館 ☎04-7124-1555

in 野田2008



■下総之國 津久太鼓

地域性を重んじ、地元で伝わる小唄の堀起こしや、郷土の作曲家「山中直治」の紹介のお手伝い、編曲等への取り組みも行っており、又その間、ワークショップの開催や、オープンサタデイクラブにも積極的に参加し、地域の方々や子ども達に太鼓の楽しさを伝える事にも力を入れています。座長の「染 刀鼓」の目指すところは「端正な中に、内に秘めたる熱いもの」まさに日本人の心にあります。



■木村 俊介

和楽器奏者(笛・三味線)として活動する一方、作曲・音楽監督を行う。自作曲によるコンサート活動では、心象風景等をモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。'06~'07年、坂東玉三郎演出・出演、鼓童『アマテラス』に楽曲・詞を提供。'08年国際交流基金主催によりニューヨーク他でコンサートに出演。'08年、加藤直演出・荻野目慶子他出演『もう一つのシルクロード』にて音楽監督を務める。



■御諏訪太鼓

御諏訪太鼓は太古より農耕武勇の神として全国的な崇拝を集めている出雲の国造、大国主の御子、建御名方の命を祀り、信濃之國一之宮諏訪大社の太々神楽を伝承し、今から四百三十数年前、永禄四年九月、川中島の合戦に於て、武田信玄が将兵の士気を鼓舞し有利な戦いを展開したと伝えられる郷土芸能であり、今日に息づく諏訪人の雄叫びである。



■愛宕陣太鼓 連響風組

創作和太鼓の魅力にひかれ、1994年に結成した我ら「愛宕陣太鼓 連響風組」。男ばかりでの宮太鼓単一の演奏により強さ、激しさ、また哀愁を現わす。音楽としての和太鼓としてだけでなく、規律・統制・熱情を秘め、各自の熱い鼓動により太鼓道の至高を目指し、そして貫く。



■尾張新次郎太鼓保存会

尾張新次郎太鼓保存会は、愛知県西部(尾張地方)の農村地帯に江戸時代(文化・文政)の頃より伝わる神楽太鼓です。その名称は祭り囃子の復活に生涯を捧げた初代会長、故 西川新次郎氏の名前からきています。

当会の神楽太鼓は「曲太鼓」と「神楽屋形太鼓」に大別できます。それぞれ神楽笛に合わせて奏叩するこれらの太鼓は、名古屋市にある熱田神宮の大神楽から発生したものです。



■太鼓集団天邪鬼

和太鼓演奏家のプロ集団として1986年12月設立。

日本人の心と江戸前の粋を根底に和太鼓における理想の音を探求し、新たなる和太鼓音楽の確立を目指して常に挑戦を続ける。国内での公演活動はもとより、世界30数カ国に及ぶ海外公演では圧倒的な支持を得ており、テレビ番組での太鼓指導・出演に於いても高い評価を受ける。

「手練」「Relax'95」等のビデオ・「魂の響」CD・「魂の響」DVDを発売中。

